

沿岸域の防災・減災に関するシンポジウム

「ねばり強い沿岸域を目指して、沿岸域の設計・技術の課題と考えるべきこと」

主催：名古屋工業大学・高度防災工学センター

共催：独立行政法人 港湾空港技術研究所

○日時：平成25年2月6日（水） 午後13:10-17:20

○場所：名古屋工業大学51号館 5111教室（旧101教室）

<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

○主旨：

来襲が懸念される巨大連動地震に対して、ねばり強い沿岸地域をつくるためのインフラのあり方、技術や設計について、ホリスティックに考えるためのヒントを得ることを目的としています。東海地区は日本の産業、経済、交通の要所であるとともに、都市機能は濃尾平野を始めとする低平地に集中しています。このような状況は国内外において多く見受けられます。東日本大震災においても、沿岸部は地震、津波の甚大な被害を受けました。

そこで、港湾、空港、沿岸域のインフラ、鉄道に関する防災・減災に関して第一線でご活躍の専門家の皆様にご講演頂きます。津波外力、液状化・津波の複合災害への最近の取り組み、沿岸構造物および線構造物としての鉄道の被害の実態、そして経験をどのように活かしていくのかについて話を進め、沿岸部のインフラの課題を整理し、ねばり強い沿岸域の整備方法について討議したいとおもいます。

名古屋工業大学では様々な視点から沿岸域の防災・減災研究に携わって参りましたが、平成23年度に高度防災工学センターの設置、独立行政法人港湾空港技術研究所との包括協定締結と、より一層、地域に貢献することを考えております。

○内容：

13:10～13:15 開会挨拶・名古屋工業大学学長・高橋実

13:15～13:20 主旨説明 司会：名古屋工業大学・高度防災工学センター・前田健一

1. 「想定外から2年、津波外力の考え方の変遷から今後の課題」 13:20～14:00

港湾空港技術研究所・海洋研究領域長・下迫健一郎

(名古屋工業大学高度防災工学センター・客員教授)

2. 「液状化・津波の複合災害への最先端の取り組みと設計の考え方」 14:00～14:40

港湾空港技術研究所・特別研究官（地震防災研究担当）兼アジア・太平洋沿岸防災研究センター副センター長・菅野高弘

(名古屋工業大学高度防災工学センター・客員教授)

(休憩) 14:40～14:50

3. 「沿岸域インフラにおける津波被害：洗掘の実態と対策」 14:50～15:30

鹿島建設（株）技術研究所・主席研究員・池谷毅

4. 「鉄道構造物の地震・津波被害」 15:30～16:10

鉄道総合技術研究所・構造物技術研究部・主任研究員・小島謙一

(休憩) 16:10～16:20

5. 「想定力をつけるための過去の経験の活かし方」 16:20～17:00

名古屋工業大学・高度防災工学センター・准教授・北野利一

6. 全体討議 17:00～17:15

閉会挨拶：名古屋工業大学・高度防災工学センター長・張鋒 17:15～17:20

○定員：150名 ○参加費：無料

○問い合わせ先・申込先：名古屋工業大学・高度防災工学センター事務局・飯田千恵

iida.chie@nitech.ac.jp TEL.052-735-5197

お申込みの際には、氏名、所属、連絡先（E-mailを含む）をご記入の上、上記までお申込みください（書式は特に問いません）。

申し込み締め切り：平成25年2月4日（月）